



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月3日

上場会社名 株式会社 岡村製作所
コード番号 7994 URL <http://www.okamura.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久松 一良

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 潔

TEL 045-319-3445

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	42,325	10.6	1,225	—	1,540	—	984	—
23年3月期第1四半期	38,277	△6.3	△82	—	114	△85.4	△219	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 782百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,465百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	8.93	—
23年3月期第1四半期	△1.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	160,059	77,006	48.1	697.74
23年3月期	161,845	76,638	47.3	694.28

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 76,908百万円 23年3月期 76,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.75	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	82,000	4.2	1,000	—	1,200	775.1	600	—	5.44
通期	175,000	3.4	5,000	108.3	5,500	115.7	3,100	412.8	28.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	112,391,530 株	23年3月期	112,391,530 株
24年3月期1Q	2,165,895 株	23年3月期	2,162,714 株
24年3月期1Q	110,227,261 株	23年3月期1Q	110,241,974 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) セグメント情報	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
(7) 重要な後発事象	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、東日本大震災の影響は依然として残るものの、サプライチェーンの立て直しが進み生産活動は回復し、個人消費の一部には持ち直しの動きもあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし一方で、海外経済の景気回復の減速や円高の進行、電力供給の制約などを背景に景気の先行きには不透明感もあり、民間企業の設備投資の動きは依然として鈍く、当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループは、コストダウンと経費削減を推進し、新技術の採用や環境に配慮した新製品開発及び新規顧客開拓により新しい市場を創出するとともに、提案販売によるトータル受注の拡大に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益又は損失(△)(百万円)		
	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増減	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増減
オフィス環境事業	20,364	22,794	2,429	△349	740	1,090
商環境事業	15,372	16,688	1,315	277	633	356
その他	2,540	2,842	302	△10	△148	△138
合計	38,277	42,325	4,048	△82	1,225	1,308

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と一致しております。

オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、景気の先行きに対する慎重な姿勢による企業の投資抑制、経費削減の影響により、オフィスの移転需要及びリニューアル需要はいずれも厳しい状況で推移いたしました。しかし一方で、オフィスの効率化やコストダウンを目的とした需要は根強く、さらにはオフィスの安全対策への関心も高まり、それらのニーズに対応した「ものづくりへのこだわり」と、「オフィスのあり方」及び環境負荷を低減する「グリーン・ワークプレイス」の提案を積極的に展開してまいりました。また、教育施設や地方自治体等のオフィス周辺市場の需要開拓にも努め、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は22,794百万円（前年同四半期比11.9%増）、セグメント利益は740百万円（前年同四半期は349百万円のセグメント損失）となりました。

商環境事業

商環境事業につきましては、経済対策効果により個人消費の一部に持ち直しの動きもみられましたが、流通業の投資抑制・店舗の小型化と引き続き厳しい事業環境で推移いたしました。そのような状況の下、消費者ニーズの変化に適合した店舗、エネルギー効率の向上を目指した店舗、店舗セキュリティシステムなどのトータル提案営業を積極的に展開し、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は16,688百万円（前年同四半期比8.6%増）、セグメント利益は633百万円（前年同四半期比128.5%増）となりました。

その他（物流機器事業他）

物流機器事業につきましては、コストダウンを目的とした物流管理のアウトソーシング、自然エネルギーの生産施設、食品加工センターなどの有望分野的を絞り、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に活かしたトータル受注の拡大と、他事業との連携を強化した業種別ソリューション営業の積極的な展開により、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は2,842百万円（前年同四半期比11.9%増）、セグメント損失は148百万円（前年同四半期は10百万円のセグメント損失）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高42,325百万円（前年同四半期比10.6%増）、営業利益1,225百万円（前年同四半期は82百万円の営業損失）、経常利益1,540百万円（前年同四半期比1,245.9%増）、四半期純利益984百万円（前年同四半期は219百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりとなりました。

総資産については、前連結会計年度末から1,785百万円減少して160,059百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加、売上債権の減少を主な要因として785万円減少し、固定資産は、有形固定資産及び投資有価証券の減少を主な要因として1,000百万円減少いたしました。

負債については、仕入債務の減少を主な要因として、前連結会計年度末から2,153百万円減少して83,053百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度末から367百万円増加して77,006百万円となり、自己資本比率は0.8ポイント上昇して48.1%となりました。

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については以下のとおりとなりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費1,005百万円及び売上債権の減少額5,656百万円等による増加と、仕入債務の減少額4,166百万円等による減少の結果、3,848百万円の資金増加（前年同四半期は7,091百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却及び償還407百万円等による増加と、有形固定資産の取得360百万円及び投資有価証券の取得301百万円等による減少の結果、335百万円の資金増加（前年同四半期は576百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増減額2,408百万円等による増加と、配当金の支払額369百万円等の支出により、1,939百万円の資金増加（前年同四半期は837百万円の増加）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から6,148百万円増加（前年同四半期は7,357百万円の増加）し、30,510百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月10日に公表いたしました業績予想数値を変更していません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成21年12月4日 企業会計基準第24号）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成21年12月4日 企業会計基準適用指針第24号）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,593	32,141
受取手形及び売掛金	43,452	37,795
有価証券	322	318
商品及び製品	9,218	8,743
仕掛品	1,163	1,194
原材料及び貯蔵品	2,335	2,433
その他	2,350	2,023
貸倒引当金	△34	△34
流動資産合計	85,401	84,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,565	14,304
土地	22,524	22,524
その他（純額）	7,683	7,518
有形固定資産合計	44,773	44,347
無形固定資産		
のれん	1,390	1,318
その他	2,087	2,071
無形固定資産合計	3,477	3,390
投資その他の資産		
投資有価証券	18,967	18,597
その他	9,279	9,161
貸倒引当金	△54	△53
投資その他の資産合計	28,192	27,705
固定資産合計	76,443	75,442
資産合計	161,845	160,059

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,083	27,138
電子記録債務	893	3,745
短期借入金	8,904	11,322
1年内返済予定の長期借入金	3,847	3,841
未払法人税等	930	445
賞与引当金	899	532
災害損失引当金	113	17
その他	2,736	3,347
流動負債合計	52,410	50,392
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	6,179	6,105
退職給付引当金	12,533	12,774
その他	4,082	3,780
固定負債合計	32,796	32,661
負債合計	85,206	83,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,759	16,759
利益剰余金	41,903	42,473
自己株式	△2,369	△2,370
株主資本合計	74,964	75,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,903	1,683
為替換算調整勘定	△337	△307
その他の包括利益累計額合計	1,565	1,375
少数株主持分	108	97
純資産合計	76,638	77,006
負債純資産合計	161,845	160,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	38,277	42,325
売上原価	26,895	29,281
売上総利益	11,382	13,044
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,741	1,838
給料及び手当	3,811	3,800
賞与引当金繰入額	293	318
賃借料	1,569	1,547
その他	4,049	4,313
販売費及び一般管理費合計	11,464	11,818
営業利益又は営業損失(△)	△82	1,225
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	179	215
持分法による投資利益	15	107
その他	203	193
営業外収益合計	407	525
営業外費用		
支払利息	150	128
その他	59	82
営業外費用合計	210	211
経常利益	114	1,540
特別損失		
固定資産除売却損	81	—
投資有価証券評価損	78	15
その他	128	—
特別損失合計	288	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△173	1,524
法人税、住民税及び事業税	185	450
法人税等調整額	△113	99
法人税等合計	72	550
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△245	973
少数株主損失(△)	△26	△10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△219	984

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△245	973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,316	△215
為替換算調整勘定	6	18
持分法適用会社に対する持分相当額	90	6
その他の包括利益合計	△1,219	△190
四半期包括利益	△1,465	782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,438	793
少数株主に係る四半期包括利益	△26	△10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△173	1,524
減価償却費	1,122	1,005
固定資産除売却損益(△は益)	81	9
持分法による投資損益(△は益)	△15	△107
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△392	△366
退職給付引当金の増減額(△は減少)	222	198
受取利息及び受取配当金	△188	△224
支払利息	150	128
投資有価証券評価損益(△は益)	78	15
売上債権の増減額(△は増加)	8,483	5,656
たな卸資産の増減額(△は増加)	△283	344
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,254	△4,166
その他	△274	573
小計	7,556	4,591
利息及び配当金の受取額	184	222
利息の支払額	△142	△135
法人税等の支払額	△507	△831
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,091	3,848
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△447	△360
無形固定資産の取得による支出	△102	△141
投資有価証券の取得による支出	△316	△301
投資有価証券の売却及び償還による収入	26	407
その他	262	731
投資活動によるキャッシュ・フロー	△576	335
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,376	2,408
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△254	△78
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△369	△369
その他	△15	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	837	1,939
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,357	6,148
現金及び現金同等物の期首残高	20,902	24,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,260	30,510

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,364	15,372	35,737	2,540	38,277	—	38,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	20,364	15,372	35,737	2,540	38,277	—	38,277
セグメント利益 又は損失(△)	△349	277	△72	△10	△82	—	△82

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,794	16,688	39,482	2,842	42,325	—	42,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,794	16,688	39,482	2,842	42,325	—	42,325
セグメント利益 又は損失(△)	740	633	1,374	△148	1,225	—	1,225

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。